



# 活力の素



恋愛編

なんでん屋

## 出会いと視線

---

世の中に出会いという文字は、様々に使われている。

しかし、考えてみればわかるけれども、最初は相手を見る行為から始まる。

この視線について、追っかけてみよう。

### 1. 視線の先には

人は、街中で、職場で、学校で、標的を探すように、視線を行き届かせている。

話したい相手、物色中、友達、家族、仲間などを捜しているのである。

この視線とは、特異な人を捜しているのだろうか。

違います。

安心したい人を捜しているのです。

では、恋愛ではどうでしょう。

恋愛でも同じです。

安心できる人を捜しているのです。

けっして、今夜どうにかしてやろうという人を捜しているのではありません。

そういう人は、論外です。

頭の構造が変です。

関わらないのが得策です。

街中で、人に視線を出している人は、意中の人を捜しています。

異性であれば、好きな人が現れないか探しているのです。

そして好きな人と雰囲気似ている人物を見つけようとしているのです。

どうしてそういう事をするのでしょうか。

意中の人近くにいけばいいじゃないですか。

そうなのです。

常に代用の人を捜しているのです。

だから、つき合ったとしても別れてしまうのですね。

最初から、本命一筋のほうが充実していると思いますよ。

### 2. 視線を外す

男女を問わず、視線を送られて戸惑ったり、視線を外したりする人はいませんか。

相手から好かれていたり、気になっているのですよ。

恋愛を抜きにして。

そういう人と話すと、割といいあんばいで話ができます。

強気でもなく、かといって弱気でもない。

じっくりと話が合う相手です。

そういう相手が異性なら、それは恋愛対象になります。  
世の中に、そういう人が多いと感じていませんか。  
そうです。  
恋愛対象は、無数にいるのです。

家族同士なら堂々と話しますが、他人なら恥ずかしさが出るでしょう？  
自宅の外でも、職場でも、堂々と話す人は、友達ですよ。  
しかし、話すのが苦手な人が一人以上いると思います。  
その人が恋愛対象なのですよ。  
堂々と話している恋人たちは、いずれ別れます。  
最初から決まっているのです。  
無駄な努力は、最初からやめましょう。

## 出会いとインスピレーション

---

相手を見つける事が恋愛だと勘違いしている方がおられます。  
恋愛とは、出会った相手が自然淘汰されて恋愛という状況になっているだけなのです。  
出会う相手は、様々なシチュエーションに及びます。  
そうです。もう既に出会っているかも。  
となりにいるかも！？

### 1. 視線を向けられる

電車の中で、見られていると感じた事はありませんか？  
芸能人でもないのに、視線を感じる。  
あなたを好きな人から、今見られております。  
または、物色されている可能性があります。  
やなやつと思うようなら、あなたの価値観は標準以下です。  
自分をもっと向上させましょう。

そんなとき、あなたは喜ばなければいけません。  
あなたのファンが一人以上いるという事なのです。  
そういうとき、本物の美男子・美女は優しく話しかけてきます。  
そういう人は、そんな視線を理解して日常生活をしています。  
ですから、モテるのでしょうね。

顔が美男子・美女じゃなくてもモテる人はモテます。  
そこを覚えておきましょう、

### 2. インスピレーション

ちょっとした仕草や動作でインスピレーションを感じる事がある。  
それは、あなたがその人のそばにいて、安心できる事の証明です。  
そういうインスピレーションなら問題ありません。  
あなたのインスピレーションは合っています。

しかし、顔や服装を見てこの人は？  
とか、もしかしたらと思うようなら、そのインスピレーションは間違っています。  
それは、ビジネスパートナーなのです。  
話が合う、仕事仲間なのです。  
決して、将来のハズバンドなどと思わないでください。

## 友達の紹介

---

### 友達の紹介

友達に異性を紹介されるのは、デメリットだと思ってください。  
友達とその異性が親密になりますから、こちらへはなびいてきません。  
必ず、かなりの年上で既婚者から、紹介してもらってください。  
そういう人の方が、カップルを静かに見守ってくれます。  
いざとなれば、相談者にもなります。

これが同年代の友達なら、ライバルとなってしまいます。  
だから、同年代の友達から紹介されたら気をつけましょう。

もし、そうなったら、秘密裏に恋を進行させるしかありません。  
報告したいところですが、絶対しないことです。  
報告すると、友達が異性に話しかけるようになります。  
よって、邪魔されることになるでしょう。

男だったら、知りあいのおじさんから紹介される。  
女だったら、知り合いのおばさんから紹介されると結構うまくいきます。  
もちろん、そのおじさんとおばさんは、おせっかいやきです。  
わたしは、おばさんから紹介されるとうまくいきませんでした。  
おじさんを信頼したときは、結婚できましたけど。

家庭の場合も、男だったらお父さん。  
女だったら、お母さん。  
どうですか？一度周囲で聞いてみてください。

初対面なのに、あれ、この人と話したことがある。

そう思う時は、

赤い糸の伝説。

霊界のフィアンセ。

先祖が決めた許婚。

思いの世界でいつも話している人。

である。

まず、間違いない！

今回は、これだけ。

あとはがんばれ！

## 顔の表情

---

いつもの顔の表情で性格がわかる。

いつもニコニコしていて、時折怖い顔をする。

こういう男性は、いつも平穏で愛情豊かな心を持っている。

たまに怖い顔をするのは、彼の見ている誰かが悪いことをしていると判断した方がよい。

正義感があり、悪いやつは許さないといった性格であろう。

逆に、いつもむっつり渋い顔をしている彼は、訳のわからないことを考え、だいたいがスケベである。

たまに笑顔になったり、にやにやするのは、自分の冗句が面白かったり、スケベなことを思い出しているとみていいだろう。

こういう顔の表情を観察していれば、恋愛対象になるかならないかだいたいわかるようである。

## お尻の大きさに決まる

---

### お尻の大きさに決まる

お尻の大きい女は、心の決心が決して変わらない。  
と比べて、お尻の小さい女は心がコロコロと変わりやすい。

お尻の大きい女は、座る時でもドシッと腰を据えて座るため、いつも心が浮つかずじっくりと物事を考えている。

加えて、思考的な女性であるため、考え方も論理的であろう。

反して、お尻の小さい女は、体も軽いためよく働くが、いろんなことを一度にしようと考えるため、心も変化する。

だから、一般的にお尻の小さい女は、心変わりしやすいのである。

女心と秋の空。

尻軽女は、その典型的な代名詞と言える。

これは女性に限ったことではない。

男性にも言えることである。



## 恋愛環境

---

### 心情の変化

安心したり、怒ったり、また焦ったり、心情の変化は度々起こる。  
その都度、相手をけなしたりしては、恋愛は成り立たない。  
所詮は他人。  
当たり前のことではないか。  
その心情にランクをつけるとは、ちと筋違い。  
恋愛中でも遠くの他人はよく見えるものである。  
なぜなら、接していないから。  
常に接していると、嫌な面が浮き彫りになる。  
自分がそうだから、相手もそうなのだ。  
なぜ、そこに気づかない。  
あーあ！  
楽しむだけなら、友達で良いではないか。  
なぜ、恋愛相手にする必要がある。  
これも、ちとおかしい。

恋愛とは、相手を気遣う。  
和気あいあいな恋愛はない。  
それは、友達。  
なぜそこに気づかぬか。

### 恋愛の時期

独身時代の恋愛は、ほとんどない。  
恋愛は、結婚してから。  
独身時代の恋愛は、ただのあこがれ！  
これに尽きる。  
何なら中年夫婦・高年夫婦に聞いてみな。  
実際は、こういうものなのだ。  
恋愛の延長に、結婚があると思っていると幻滅するぞ。  
そういう連中は、結婚したとたん、奥さんを怖がっている。  
ずっと、周囲の話を聞いていると、そういう話しかしない。  
過去に奥さんの自慢をした人は、見合い結婚だった。

これが、すべてを物語ると思うぞ。

## 社内結婚

なぜ、社内結婚が会社が多いか。

恋愛ではない。

仕事がらみ。

サークルがらみ。

要するに、友達結婚が多いことを知っているだろうか。

これは、恋愛結婚とは言わない。

世間体を踏まえてのことである。

わかったかな？

## 恋愛夫婦

田中真紀子夫妻は、いまだに恋愛中だと思うぞ。

外ではしっかり者の妻に、頼りない夫。

家庭では、落ち着いた夫と、うっかり者の妻。

表と裏が逆転している、しっかりした家庭だと思う。

断言する！

離婚は絶対しませんから。

世間はこういう家庭を目指してほしいな。

## 恋愛ライン

---

### 恋愛の一線

恋愛には、一線のラインがある。

そのラインまでは、恋愛と呼んでいいだろう。

一緒にいたい、そばにいたい、話したい、声を聞きたい、会いたい、顔を見たい、そんなところだろう。

しかし、その一線を越えると、さきほどの感情は消えてしまう。

その一線を越えると、その二人は男女の関係になる。

いろいろな男女の関係があるだろうが、想像するのはおまかせする。

男女関係が続けば、あとは泥沼一直線だ。

覚悟しよう！

これは、独身者も既婚者も同じ。

経験のある方はわかっていると思う。

幸い自分は、はやい時期から何となくわかっていたので、こんな経験はない。

おそらく、心はどん底まで落ちると思う。

だから、小説に書かれているような「純愛」を維持していれば大丈夫だ。

そのまま結婚すれば、彼氏彼女ではなく、夫婦という名称になる。

こうなれば、そう意識していれば、その先の離婚はない。

アメリカや日本に離婚が多いのは、結婚してもお互い男女を意識しすぎてるのだと思う。

結婚しても純愛を続けるか、子供を産んでお父さんお母さんを自覚するのが当たり前だと思うが。

男女を意識してしまうと、お互いがストレスを持つようだ。

男はこうでなきゃいけないとか、女はこうあるべきだとかね。

こういう事は、恋愛前からわかっていたはずだが・・・

恋愛後に意識しても、遅すぎますよ。

恋愛中でも、結婚後でも、相手に合わせる。

これが極意です。

相手の為に生きる。

これが今の日本にない、心情だと思う。

## 恋愛拒否

恋愛の代用はいけない。

恋愛の代用で趣味に走っても、満足感は得られない。

じつは、趣味一途に走っている人に限って、恋愛状態にある。

いわゆる、輝いている状態だから、異性が引かれるのである。

そういう人は、男はいらない、女はいらずと言っているはず。

なぜ、そうなのか？

これも、オーラのなせる技かもしれない。

だから、趣味に走ってはいけない。

自分が満足できる事だけすればいい。

そうすると、忘れた頃に異性がやってくる。

そういうものだ。

そして、誰か来てもあせるな！

既婚者と思え！

おじさん、おばさんと思えばよいだろう。

そうすれば、仲良くなれる！

## 男性から見た恋愛

### 独身編

普段は彼女いません。  
熱中できる事があれば、そちらの方が都合が良いです。  
ときおり、彼女が欲しくなることがあります。  
そのとき、そばに女性がいれば満足できます。  
それだけです。

知り合いの女がいます。  
その女性が気に入る事、行動を常に考えます。  
仕事に身が入りません。  
心が弱気になっています。  
自信のない状況が他人にわかってしまいます。  
告白しても嫌われます。

信頼できる女性がいます。  
何でも相談できます。  
女性からの相談も自信を持って対応できます。  
まわりの見た目も安心できる二人です。

### 既婚編

結婚したら安心します。  
恋愛時代に出来なかったことを実行します。  
妻の事を考えません。  
満足できればそれまでです。

相手の事を常に考えます。  
常識外の行動も受け流します。  
自宅で自分の主張はしません。  
会社で主張するようになります。  
会社での地位は上がります。

自宅で主張するようになります。  
妻は疲れます。

共同作業をしません。  
自己主張です。  
会社では、自己主張しません。

契約結婚です。  
自己主張しません。  
黙々と自宅で行動します。  
妻の行動も黙認です。  
お互い向上します。

## 恋愛対象

---

### ティーンズ向け（男性に）

誰でも好きになるアイドルに興味を持つ女性は、あきらめよう。

変わったタレントを好きになる女性は、考え方がまともですからおつきあいしてもいいです。

定番のアイドルには共通点があります。

だから、一般人でも人気のある人に惹かれてしまいます。

すぐ考えつくアイドルの真似をしてもダメです。

それは、性格ですから。

性格は、真似をすることはできません。

それは、顔でも服装でもなく、オーラを見ているから、そうになってしまうのです。

売れているアイドルは、自ら持っているオーラの力で、芸能界を這い上がってきたのです。

ですから、自分の知性を磨くことに集中しましょう。

そちらの方が、効率的です。

### 肘から先

5月、この時期目立つのは、半袖か袖の短いシャツ  
長袖をめくると、だらしなく見える。  
腕は、スマートに見せよう。  
また、シャツをズボンから出してもそうだ。  
腰もスマートに見せよう。  
ゆるゆる系を目指すなら、別だが。

腕を出していると、自然に目がいく。  
見えてはいないのだが、手から出す気を見ているのかもしれない。  
指先より、手首まわりが強いような気がする。  
目立ちたければ、肘から先を外気にさらすこと。  
目立ちたくないなら、手首を服で隠すこと。  
よく冬場に高校生がしている様。

### 膝から下

足の場合は、膝から下。  
とくに、足首周り。  
昔の人は言っていた。  
足首がしまっているのは、美人だと。  
だから、パンツやジーパンだと魅力半減。  
これも、足首まわりから気を発しているのだと思う。  
それで、男性は足首に自ずと目がいくのだと思う。



相手の為に、以下のことは気をつける。

男性からみれば、意中の相手と敵対している同性（女性）とは、話をしない。

女性から見れば、意中の相手と敵対している同性（男性）とは、話をしない。